

志學館大学履修規程

第1章 総則

(趣旨)

- 第1条 志學館大学（以下「本学」という。）において、卒業資格を得るための履修等については、本学学則の定め及びこの規程の定めるところによる。
- 2 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、当該事項に係る学部教授会がその都度決めるものとする。

第2章 教育課程

(授業科目名及び単位数等)

- 第2条 学則第20条第5項に基づく授業科目名及び単位数等は、別表のとおりとする。
- 2 学則第23条第2項に基づき、実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、博物館実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

第3章 卒業の要件

(修得すべき単位数)

- 第3条 学生が卒業資格を得るためには、学部ごとに定める次の区分の科目の単位を修得し、修得単位数の合計が124単位以上でなければならない。

人間関係学部

- | | |
|-------------------------|---------|
| (1) 共通教育科目 | 計46単位以上 |
| (2) 専門教育科目 | 計60単位以上 |
| (3) 別に定める他学部・他学科専門教育科目等 | |

法学部

- | | |
|---------------------|---------|
| (1) 共通教育科目 | 計34単位以上 |
| (2) 専門教育科目 | 計72単位以上 |
| (3) 別に定める他学部専門教育科目等 | |

- 2 前項の科目の履修方法は、別表に定めるところによる。
- 3 外国人留学生にあつては、教養科目のうち8単位までを日本事情に関する科目の修得単位で、また、外国語科目のうち8単位までを日本語に関する科目の修得単位で代えることができる。

(他大学等における授業科目の履修及び入学前の既修得単位の認定等)

- 第3条の2 学則第27条に規定する「他の大学等における授業科目の履修」及び第28条に規定する「入学前の既修得単位」に基づく単位の認定を希望する者は、それぞれ所定の手続きをとるものとする。

2 学則第27条第3項及び第28条第2項に規定する「文部科学大臣が別に定める学修」に該当する大学以外の教育施設等で行われた技能・資格等に係る学修については、教育上有益であり、かつ大学教育の水準に相当すると認められる場合に、別に定めるところにより、単位の認定を行う。

3 前項による単位の認定は、学則第27条及び第28条に規定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(必修科目)

第4条 学生が必修科目の単位を修得しないときは、卒業の認定を受けることができない。

第4章 受講

(時間割及び担当者)

第5条 開設する授業科目の時間割及び担当者は、学年の初めに公示するものとする。

(履修登録)

第6条 学生は、学年又は学期の初めに、その学年又は学期に履修しようとする授業科目について、定められた履修登録手続きをしなければならない。ただし、その他の時期に履修登録を受け付ける科目の場合は、この限りではない。

2 前項の履修登録は、所定の期間に取り消すことができる。

3 第1項の履修登録を行っていない授業科目は、その単位の認定を受けることができない。

第7条 削除

(履修登録の上限)

第7条の2 各学期に履修登録できる授業科目の単位数は、原則として24単位を上限とする。ただし、スポーツ&エクササイズA及びスポーツ&エクササイズB、集中講義科目、放送大学科目並びに卒業要件に算入されない授業科目は、制限の対象としない。

2 成績優秀者の場合、次に掲げる各号の範囲内で、前項の上限を緩和する。

(1) 標準修得単位数を取得し、通算のGPAが3.5以上の者 6単位(3科目)

(2) 標準修得単位数を取得し、通算のGPAが3.3以上3.5未満の者 4単位(2科目)

(受講制限)

第8条 各授業科目は、その内容又は教室の都合等により、受講資格を限定し、又は受講人数を制限することがある。

(重複受講の禁止)

第9条 学生は、同一時間内の授業科目を重複して受講することはできない。

(休講及び補講)

第10条 授業科目担当者が授業を休講するときは、緊急止むを得ないときを除き、あらかじめ公示するものとする。

2 休講した授業は、その学期内で補講することを原則とする。

第5章 試験

(日程の公示)

第11条 定期試験の日程は、試験開始期日の1週間前までに公示するものとする。

(受験資格)

第12条 授業科目の受講時数が全授業時数の3分の2に満たない者は、当該授業科目の試験を受けることができない。

(学生証の提示)

第13条 試験を受けるときは、学生証を机上に提示しなければならない。

(遅刻)

第14条 試験開始時刻から20分以上遅刻した学生は、当該試験を受けることができない。

(不正行為に対する措置)

第15条 試験の際、不正行為の事実が認められたときは、当該試験科目は無効とする。

2 不正行為の程度が著しいときは、当該学生の所属する教授会は、試験監督者の報告により、当該学期の全登録科目の無効を決定することができる。

(成績評価の基準)

第16条 成績の評価は、次の各号に掲げる基準によるものとする。

- (1) 秀 90点以上～100点
- (2) 優 80点以上～90点未満
- (3) 良 70点以上～80点未満
- (4) 可 60点以上～70点未満
- (5) 不可 60点未満

2 学生指導の必要があるときは、成績の表示については点数を付記するものとする。

(単位修得の確認)

第17条 各学生が修得した単位は、次学期の初めに学務課から交付される成績表により通知するものとする。

(追試験)

第18条 病気等止むを得ない事由で試験を受けることができなかった学生は、追試験を受けることができる。

2 追試験を受けようとする学生は、所定の「追試験受験願」に、試験を受けなかった事由を証する書面(医師の診断書等)を添えて学務課に提出しなければならない。

3 追試験は、当該年度内に行うものとする。

(再試験)

第19条 卒業が見込まれている学期の末に卒業要件に算入される授業科目について118単位以上を修得していることが確定している場合、試験等の結果、不合格となった授業科目については、当該学期末に再試験を受けることができる。ただし、第12条に基づき受験資格がない授業科目、実習科目及び「卒業研究Ⅲ(卒業論文)」については、この限りではない。

2 前項の再試験の対象となる授業科目は、当該学期又はその直前の学期に履修登録し、かつ、卒業要件に算入されるものに限る。

3 再試験を受けようとする学生は、所定の「再試験受験願」に受験料を添えて学務課に提出しなければならない。

- 4 受験料は、1 授業科目につき 1, 0 0 0 円とする。
- 5 再試験による成績の評価は、6 0 点を越えることができない。

第 2 0 条 削除

第 6 章 卒業研究

(卒業論文題目の提出期限)

第 2 1 条 「卒業研究Ⅱ」を履修している学生は、当該学期の 5 月末日（当日が休業日のときは、その後の最初の授業日。指定された期日の日が休業の場合は、以下同じ。）までに、指導教員の承認を得て、「卒業論文題目届」を学務課に提出しなければならない。ただし、交流協定に基づく派遣学生については、この限りでない。

- 2 「卒業研究Ⅲ（卒業論文）」を履修している学生が、前項により提出した卒業論文題目を変更しようとするときは、1 1 月末日までに、指導教員の承認を得て、「卒業論文題目変更届」を学務課に提出しなければならない。

(卒業論文の提出期限)

第 2 2 条 「卒業研究Ⅲ（卒業論文）」を履修している学生は、最終学年の 1 月 1 6 日午後 4 時 3 0 分までに、卒業論文を学務課に提出しなければならない。

(卒業研究の試験)

第 2 3 条 「卒業研究Ⅲ（卒業論文）」の試験は、卒業論文及び口頭試問により行う。

第 2 4 条 削除

(卒業延期者の取扱い)

第 2 5 条 学生が 9 月に卒業を希望する場合、第 2 1 条第 1 項の 5 月は 1 1 月と、第 2 1 条第 2 項の 1 1 月は 5 月と、第 2 2 条の 1 月は 7 月と読み替えることができる。

第 2 6 条 削除

第 7 章 公欠及び忌引

(公 欠)

第 2 7 条 学生が次に掲げる各号のいずれかに該当するときは、原則として公欠として取扱うものとする。ただし、公欠とすることが不適切と授業科目担当者が判断する事由がある場合は、この限りではない。

- (1) 学長の指示又は許可により、学内及び学外で行われる行事、式典等に出席するとき。
- (2) 伝染病の予防に係る措置を受けたとき。
- (3) 天災、交通機関の途絶遅延等のとき。
- (4) 教育実習等の学外における教育活動へ参加するとき。
- (5) 本学が認定したサークルが、本学を代表して公的な大会等へ出場するとき。
- (6) 就職試験日（試験に連動する会社説明会を含む。）
- (7) 地域や社会に貢献する各種活動のうち、学長が認めたもの。
- (8) その他学長がやむを得ないと認めたとき。

- 2 公欠としての取扱いを希望する学生は、所定の手続きをとるものとする。
- 3 公欠の時数は、第12条に規定する全授業時数からこれを控除するものとする。ただし、控除できる時数の合計は全授業時数の5分の1を超えることはできない。

(忌 引)

第28条 忌引のときは、所定の「忌引届」を授業科目担当者に提出しなければならない。

- 2 忌引の日数は、次の各号に掲げるとおりとする。

- | | |
|---------------|----------|
| (1) 配偶者 | 10日 |
| (2) 子 | 10日 |
| (3) 父母 | 7日(姻族3日) |
| (4) 祖父母及び兄弟姉妹 | 3日(姻族1日) |
| (5) 伯叔父母 | 1日 |

- 3 忌引の時数は、第12条に規定する全授業時数からこれを控除するものとする。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年6月2日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 法学部学生にあつては、第3条の規定は、平成13年度以前の入学者にも適用するものとする。
- 3 平成14年4月1日施行前の学則の別表に基づき修得した授業科目の単位は、なおその効力を有するものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 文学部の国文学科、英語英文学科及び人間関係学科の学生にあつては、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年6月29日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年5月31日から施行する。

附 則

- この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 平成19年3月31日に在籍する者については、改正後の第16条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 平成19年度編入学者及び2年次又は3年次転入学者、平成20年度編入学者及び3年次転入学者については、改正後の第16条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成19年7月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

- この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 平成20年3月31日に在籍する者については、改正後の別表第2専門教育課程表（人間関係学部／心理臨床学科、人間文化学科）にかかわらず、なお従前の例による。
- 法学部の平成17年度入学者は、改正後の別表第2専門教育課程表（法学部／法律学科）「専門演習Ⅱ」の履修方法については、なお従前の例による。
- 平成20年3月31日に在籍する者のうち、改正前の別表第2専門教育課程表（法学部／法律学科）の授業科目を既に修得している場合は、次のとおり改正後の別表第2専門教育課程表（法学部／法律学科）の授業科目を修得したものとみなす。

既に修得した 授業科目及び単位		修得したものとみなす 授業科目及び単位		既に修得した 授業科目及び単位		修得したものとみなす 授業科目及び単位	
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
実定法入門	2	法学入門	2	民事訴訟法	4	民事訴訟法Ⅰ	2
裁判法	2	裁判法入門（司法制度基礎）	2			民事訴訟法Ⅱ	2
基礎演習	4	法律学基礎演習	4	民事執行法	4	民事執行法Ⅰ	2
社会情報処理演習	2	リーガルリサーチ	2			民事執行法Ⅱ	2
演習Ⅰ	4	専門演習Ⅰ	4	刑法Ⅰ	4	刑法総論Ⅰ	2
演習Ⅱ	4	専門演習Ⅱ	4			刑法総論Ⅱ	2
憲法	4	憲法Ⅰ	2	刑法Ⅱ	4	刑法各論Ⅰ	2
		憲法Ⅱ	2			刑法各論Ⅱ	2
民法Ⅰ	4	民法総則Ⅰ	2	刑事訴訟法	4	刑事訴訟法Ⅰ	2
		民法総則Ⅱ	2			刑事訴訟法Ⅱ	2
民法Ⅱ	4	物権法Ⅰ（総論）	2	国際法Ⅰ	4	国際法Ⅰ	2
		物権法Ⅱ（担保物権）	2			国際法Ⅱ	2
民法Ⅲ	4	債権法総論Ⅰ	2	国際法Ⅱ	4	国際法Ⅲ	2
		債権法総論Ⅱ	2			国際法Ⅳ	2
民法Ⅳ	4	債権法各論Ⅰ	2	法哲学	4	法哲学Ⅰ	2
		債権法各論Ⅱ	2			法哲学Ⅱ	2
民法Ⅴ	4	家族法Ⅰ（親族）	2	国際関係論	4	国際関係論Ⅰ	2
		家族法Ⅱ（相続）	2			国際関係論Ⅱ	2
商法Ⅱ	4	会社法Ⅰ	2	金融論	4	金融論Ⅰ	2
		会社法Ⅱ	2			金融論Ⅱ	2
商法Ⅲ	4	手形小切手法Ⅰ	2	税法 Ⅰ又はⅡ	2	税法	2
		手形小切手法Ⅱ	2				
商法Ⅳ	4	商取引法	2	知的財産法 Ⅰ又はⅡ	2	知的財産法	2
		海商法	2				
		登記法Ⅰ	2				
不動産登記法 Ⅰ又はⅡ	4	登記法Ⅱ	2	環境法 Ⅰ又はⅡ	2	環境法	2

附 則

- 1 この規程は、平成21年1月28日から施行する。
- 2 法学部の平成16年度以前の入学者は、平成20年4月1日改正の別表第2専門教育課程表（法学部／法律学科）「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」の履修方法については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在籍する者の履修方法は、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。ただし、法学部法律学科及び法ビジネス学科における科目区分名の変更及び科目の分割等に伴う履修方法の変更は、法学部が別に定める。

附 則

この規程は、平成25年2月27日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に在籍する者で、既に「総合教養講座」を履修している者は、「総合教養講座Ⅰ」を履修することができない。
- 3 平成25年3月31日に在籍する者の履修方法は、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成25年6月26日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成26年4月1日から施行し、平成24年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在籍する者の履修方法は、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在籍する者の履修方法は、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日に在籍する者の履修方法は、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。ただし、特に定める科目については、この表を適用することができる。附 則
- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日に在籍する者の履修方法は、改正後の別表にかかわらず、なお従前の例による。ただし、特に定める科目については、この表を適用することができる。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に在籍する者の履修方法は、なお従前の例による。

(別表) 志學館大学教育課程表

卒業に必要な共通教育科目の単位数

1 人間関係学部の学生は、別表1-1に掲げる共通教育科目から46単位以上を、次の区分に従い修得しなければならない。

(1) 必修科目 6単位

導入科目6単位を修得すること

(2) 選択科目 40単位以上

ア 教養科目から20単位

第1群から6単位、第2群から6単位、第3群から6単位、第4群から2単位

イ キャリア形成科目から2単位

ウ 外国語科目から8単位。ただし、2言語を履修する場合は、1言語につき4単位を修得すること。

エ その他10単位以上は、共通教育科目のいずれの区分から修得してもよい

2 法学部の学生は、別表1-1に掲げる共通教育科目から34単位以上を、次の区分に従い修得しなければならない。

(1) 必修科目 6単位

導入科目6単位を修得すること

(2) 選択科目 28単位以上

ア 教養科目から8単位

第1群から2単位、第2群から2単位、第3群から2単位、第4群から2単位

イ キャリア形成科目から2単位

ウ 外国語科目から8単位。ただし、2言語を履修する場合は、1言語につき4単位を修得すること。

エ その他10単位以上は、共通教育科目のいずれの区分から修得してもよい

3 外国語科目は、第一言語（母語）以外の言語で修得すること。

卒業に必要な外国人留学生特別科目の単位数

1 外国人留学生は、別表1-2に掲げる16単位（8科目）を、修得しなければならない。

2 外国人留学生は、別表1-2に掲げる日本事情Ⅰ～Ⅳの科目の修得単位で、教養科目の単位に代えることができる。

3 外国人留学生は、別表1-2に掲げる日本語Ⅰ～Ⅳの科目の修得単位で、外国語科目の単位に代えることができる。

4 日本語を第一言語（母語）とする学生は、別表1-2に掲げる科目を受講することはできない。

別表第1-1 共通教育科目表

区分	授業科目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
導入科目	学問へのステップⅠ	2	演習	2		1	
	学問へのステップⅡ	2	演習	2		1	
	情報技術演習	2	演習	2		1	
	小計			6			

区分	群	授業科目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
教養科目	教養基礎科目群	持続可能な開発 (SDGs)	2	講義		2	1	
		Society5.0と情報	2	講義		2	1	
		総合教養講座Ⅰ	2	講義		2	1	
		総合教養講座Ⅱ	2	講義		2	1	
		スポーツ&エクササイズA	1	実技		1	1	
		スポーツ&エクササイズB	1	実技		1	1	
	第1群 (思想と歴史・文化の諸相)	哲学	2	講義		2	1	
		現代の倫理	2	講義		2	1	
		宗教文化論	2	講義		2	1	
		人間らしさを考える	2	講義		2	1	
		東洋思想	2	講義		2	1	
		日本の歴史	2	講義		2	1	
		アジアの歴史	2	講義		2	1	
		中国の文化	2	講義		2	1	
		ヨーロッパの歴史	2	講義		2	1	
		ことばの科学	2	講義		2	1	
		日本の文学	2	講義		2	1	
		世界文学への招待	2	講義		2	1	
		異文化コミュニケーション	2	講義		2	1	
		隼人学	2	講義		2	1	
	恋愛論	2	講義		2	1		
	韓国の言語と文化	2	演習		2	1		
	読書と豊かな人間性	2	講義		2	1		
	第2群 (社会と人間の諸相)	現代社会の病理	2	講義		2	1	
		日本国憲法	2	講義		2	1	
		現代社会と法	2	講義		2	1	
		現代社会と政治	2	講義		2	1	
		現代社会と経済	2	講義		2	1	
		現代の世界と歴史	2	講義		2	1	
		犯罪学入門	2	講義		2	1	
生涯教育		2	講義		2	1		
高齢者と社会		2	講義		2	1		
障害者と福祉		2	講義		2	1		
市民自治の知識と実践		2	講義		2	1		
現代社会とジェンダー		2	講義		2	1		
生と死		2	講義		2	1		
税のしくみ		2	講義		2	1		
新聞で読み解く現代		2	講義		2	1		
地域づくり論		2	講義		2	1		
現代社会とレクリエーション	2	講義		2	1			
ボランティア企画実習	2	実習		2	2			
まちづくり企画実習	2	実習・演習		2	2			

区分	群	授業科目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
教養科目	第3群 (諸相) （生命と環境・資源利用の）	科学史	2	講義		2	1	
		人間と進化	2	講義		2	1	
		脳の科学	2	講義		2	1	
		こころの世界	2	講義		2	1	
		こころの健康	2	講義		2	1	
		動物と法	2	講義		2	1	
		生物の多様性	2	講義		2	1	
		自然環境のしくみ	2	講義		2	1	
		フィールドで学ぶ環境科学	2	講義・実習		2	1	
		食料問題と持続的開発	2	講義		2	1	
	エネルギー資源利用の未来	2	講義		2	1		
	産業・技術と倫理	2	講義		2	1		
	スポーツと現代社会	2	講義・演習		2	1		
	第4群 (環境の諸相) （数理・情報）	文系学生のための数学の世界	2	講義		2	1	
		確率と統計の基礎	2	講義		2	1	
		情報技術演習Ⅱ	2	演習		2	1	
		情報技術応用演習	2	演習		2	1	
		情報技術論	2	講義		2	1	
		映像音声編集入門	2	演習		2	2	
プログラミングⅠ		2	演習		2	2		
プログラミングⅡ	2	演習		2	2			
小計						124		

区分	授業科目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
キャリア形成科目	キャリア開発入門	2	講義		2	1	
	キャリア概論（かごしま学）	2	講義		2	2	
	キャリアデザイン	2	講義		2	2	
	キャリア開発演習	2	講義・演習		2	2	
	インターンシップ	2	実習・演習		2	2	
	インターンシップ（長期）	2	実習・演習		2	2	
	小計					12	

区分	授業科目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
かごしま教養科目	かごしま教養プログラム	2	演習		2	1	
	かごしまフィールドスクール	2	実習		2	1	
	小計					4	

区分	授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
外国語科目	英語 I	2	演習		2	1	
	英語 II	2	演習		2	1	
	英語 A (TOEIC I)	2	演習		2	2	
	英語 B (TOEIC II)	2	演習		2	2	
	英語 C (ビジネス英語 I)	2	演習		2	2	
	英語 D (ビジネス英語 II)	2	演習		2	2	
	外国語入門 I (英語)	2	演習		2	2	
	外国語入門 II (英語)	2	演習		2	2	
	ドイツ語 I	2	演習		2	1	
	ドイツ語 II	2	演習		2	1	
	ドイツ語 III	2	演習		2	2	
	ドイツ語 IV	2	演習		2	2	
	フランス語 I	2	演習		2	1	
	フランス語 II	2	演習		2	1	
	フランス語 III	2	演習		2	2	
	フランス語 IV	2	演習		2	2	
	中国語 I	2	演習		2	1	
	中国語 II	2	演習		2	1	
	中国語 III	2	演習		2	2	
	中国語 IV	2	演習		2	2	
	韓国語 I	2	演習		2	1	
	韓国語 II	2	演習		2	1	
	韓国語 III	2	演習		2	2	
韓国語 IV	2	演習		2	2		
	小計				48		

別表第 1 - 2 外国人留学生特別科目表

授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
日本事情 I	2	演習	2		1	
日本事情 II	2	演習	2		1	
日本事情 III	2	演習	2		2	
日本事情 IV	2	演習	2		2	
日本語 I	2	演習	2		1	
日本語 II	2	演習	2		1	
日本語 III	2	演習	2		2	
日本語 IV	2	演習	2		2	
	小計		16			

卒業に必要な単位数（心理臨床学科）

卒業には、以下の第1～3項に掲げる単位数の合計が、124単位以上であることが要件である。なお、第1項及び第2項の単位数の合計が124単位以上である場合は、第3項の単位がなくてもよい。

- 1 共通教育科目 別表第1「共通教育科目表」に掲げる科目から46単位以上（下表1 共通教育科目参照）
- 2 専門教育科目 別表第2-1「専門教育科目表 人間関係学部心理臨床学科」に掲げる科目から、次の区分の単位数を含む60単位以上（下表2 専門教育科目参照）
 - (1) 必修科目 14単位
 - (2) 選択科目 46単位以上
 - ア 選択科目 a 12単位
学科共通科目<心理学系><健康科学系A群><健康科学系B群>から、それぞれ4単位
 - イ 選択科目 b 4単位
学科共通科目から4単位
 - ウ 選択科目 c 30単位
演習科目6単位以上を含め、30単位以上
- 3 他学部・他学科専門教育科目等
 - (1) 人間文化学科及び法学部の専門教育科目（別表第2）
 - (2) 技能・資格等認定科目
 - (3) 協定に基づく他の大学等の授業科目（本学の専門教育科目とみなせるもの）
 - (4) 交換留学生（派遣）特別科目（専門教育科目）（別表第6）

■卒業に必要な最低修得単位数

1 共通教育科目	46単位	18単位
2 専門教育科目	60単位	
3 他学部・他学科専門教育科目等	—	
計	124単位	

1 共通教育科目

区分	授業科目等	必修	選択	選択	備考	
導入科目	学問へのステップⅠ	2単位	—	—		
	学問へのステップⅡ	2単位	—	—		
	情報技術演習	2単位	—	—		
教養科目	教養基礎科目群	—	—	10単位		
	第1群	—	6単位			
	第2群	—	6単位			
	第3群	—	6単位			
	第4群	—	2単位			
キャリア形成科目		—	2単位			
かごしま教養科目		—	—			
外国語科目		—	8単位			1言語につき4単位以上
計		6単位	30単位		10単位	
卒業に必要な最低修得単位数		46単位				

2 専門教育科目

区分	授業科目等	必修	選択 a	選択 b	選択 c
学部基礎科目		—	—	—	30単位 ※演習科目 6単位を 含む
学科基礎科目	臨床人間学	2単位	—	—	
	心理学実験Ⅰ	2単位	—	—	
	心理的アセスメントⅠ	2単位	—	—	
	心理学統計法	2単位	—	—	
		—	—	—	
学科共通科目	心理学系	—	4単位	4単位	
	健康科学系A群	—	4単位		
	健康科学系B群	—	4単位		
心理臨床実践科目		—	—	—	
社会産業心理科目		—	—	—	
学校教育心理科目		—	—	—	
精神保健福祉科目		—	—	—	
看護系科目		—	—	—	
卒業科目		6単位	—	—	
計		14単位	46単位		
卒業に必要な最低修得単位数		60単位			

別表第2-1 専門教育科目表

人間関係学部心理臨床学科

区分	授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考	
学部基礎科目	人権論	2	講義		2	1		
	倫理学概論	2	講義		2	2		
	哲学概論	2	講義		2	2		
	法学概論	2	講義		2	2		
	政治学概論	2	講義		2	2		
	社会学概論	2	講義		2	2		
学科基礎科目	臨床人間学	2	講義	2		1		
	心理学概論	2	講義		2	1		
	臨床心理学概論	2	講義		2	2		
	心理学実験Ⅰ	2	実験	2		2		
	心理学実験Ⅱ	2	実験		2	3		
	心理的アセスメントⅠ	2	実習	2		3		
	心理的アセスメントⅡ	2	実習		2	3		
	心理学統計法	2	講義	2		2		
心理学研究法	2	演習		2	3			
学科共通科目	心理学系	知覚・認知心理学	2	講義		2	3	
		学習・言語心理学	2	講義		2	3	
		感情・人格心理学	2	講義		2	2	
		神経・生理心理学	2	講義		2	2	
		社会・集団・家族心理学	2	講義		2	2	
		発達心理学	2	講義		2	2	
		精神保健Ⅰ	2	講義		2	3	
		精神保健Ⅱ	2	講義		2	3	
	健康科学系A群	人体の構造と機能及び疾病	2	講義		2	1	
		栄養学	2	講義		2	1	
		解剖生理学Ⅰ	2	講義		2	1	
		解剖生理学Ⅱ	2	講義		2	2	
		病理学	2	講義		2	2	
		薬理概論	2	講義		2	2	
		衛生学	2	講義		2	2	
		公衆衛生学	2	講義		2	3	
		疾病学	2	講義		2	3	
		精神疾患とその治療Ⅰ	2	講義		2	3	
	精神疾患とその治療Ⅱ	2	講義		2	3		
	健康管理概論	2	講義		2	3		
	健康科学系B群	社会福祉学Ⅰ	2	講義		2	1	
		社会福祉学Ⅱ	2	講義		2	1	
		地域福祉論Ⅰ	2	講義		2	2	
		地域福祉論Ⅱ	2	講義		2	2	
		社会保障論Ⅰ	2	講義		2	2	
		社会保障論Ⅱ	2	講義		2	2	
	障害者福祉論	2	講義		2	2		
	心理臨床実践科目	心理学的支援法	2	講義		2	2	
健康・医療心理学		2	講義		2	3		
福祉心理学		2	講義		2	2		
障害者・障害児心理学		2	講義		2	3		
高齢者心理学		2	講義		2	2		
公認心理師の職責		2	講義		2	3		
関係行政論		2	講義		2	3		
発達心理学演習		2	演習		2	3		
神経・生理心理学演習		2	演習		2	3		
心理演習		2	演習		2	3		
心理実習	2	実習		2	3			

区分	授 業 科 目	単位数	授 業 形態	必修	選択	配当年次	備考
社会産業心理科目	社会心理学	2	講義		2	2	
	組織行動論	2	講義		2	2	
	産業・組織心理学	2	講義		2	2	
	司法・犯罪心理学	2	講義		2	2	
	家族心理学	2	講義		2	2	
	コミュニケーション論	2	講義		2	3	
	情報社会論	2	講義		2	3	
	社会調査法	2	講義		2	2	
	生涯学習概論	2	講義		2	1	
	産業組織心理学演習	2	演習		2	3	
	社会心理学演習	2	演習		2	4	
	社会調査統計	2	演習		2	3	
	社会産業実習	2	講義・実習		2	3	
学校教育心理科目	学校保健	2	講義		2	1	
	養護概説	2	講義		2	1	
	学習心理学	2	講義		2	2	
	学校臨床と教育相談	2	講義		2	3	
	教育原理	2	講義		2	2	
	教育・学校心理学	2	講義		2	2	
	生徒指導の理論と方法	2	講義		2	2	
	教育の方法と技術	2	講義		2	3	
	健康相談活動	2	講義		2	3	
	教育社会学	2	講義		2	2	
	比較教育概論	2	講義		2	3	
	学校臨床論演習	2	演習		2	3	
	教育・学校心理学演習	2	演習		2	3	
	学習心理学演習	2	演習		2	3	
教育臨床実習	2	講義・実習		2	3		
精神保健福祉科目	権利擁護と成年後見制度	2	講義		2	2	
	刑事司法と福祉	2	講義		2	2	
	社会福祉調査の基礎	2	講義		2	2	
	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	講義		2	1	
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	講義		2	1	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	講義		2	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	講義		2	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	講義		2	2	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2	講義		2	3	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2	講義		2	4	
	精神障害リハビリテーション論	2	講義		2	3	
	精神保健福祉制度論	2	講義		2	3	
	ソーシャルワーク演習	2	演習		2	2	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	2	演習		2	3	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	2	演習		2	3	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	2	演習		2	4	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	実習		2	3	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	実習		2	3	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	実習		2	4	
ソーシャルワーク実習	7	実習		7	4		

区分	授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
看護 系 科 目	微生物学	2	講義		2	2	
	看護学Ⅰ	2	講義		2	2	
	看護学Ⅱ	2	講義		2	3	
	看護実習Ⅰ	1	実習		1	2	
	看護実習Ⅱ	1	実習		1	3	
	臨床看護実習（学外）	1	実習		1	3	
	臨床看護実習指導	1	実習		1	3	
	救急処置Ⅰ	2	講義		2	2	
	救急処置Ⅱ	1	実習		1	3	
卒業 科 目	卒業研究Ⅰ	2	演習	2		3	
	卒業研究Ⅱ	2	演習	2		4	
	卒業研究Ⅲ（卒業論文）	2	演習	2		4	
計				14	212		

卒業に必要な単位数（人間文化学科日本語日本文学コース）

卒業には、以下の第1～3項に掲げる単位数の合計が、124単位以上であることが要件である。なお、第1項及び第2項の単位数の合計が124単位以上である場合は、第3項の単位がなくてもよい。

1 共通教育科目 別表第1「共通教育科目表」に掲げる科目から46単位以上（下表1 共通教育科目参照）

2 専門教育科目 別表第2-2-1「専門教育科目表 人間関係学部人間文化学科（日本語日本文学コース）」に掲げる科目から、次の区分の単位数を含む60単位以上（下表2 専門教育科目参照）

(1) 必修科目 20単位

 学科基礎科目 6単位

 学科共通科目＜日本語日本文学系＞ 8単位

 卒業科目 6単位

(2) 選択科目 40単位以上

 ア 選択科目 a 8単位

 学科共通科目＜英語英米文化系＞＜歴史地理系＞から、それぞれ4単位

 イ 選択科目 b 32単位以上

 学科専門科目（コース科目）から32単位以上

※上の(2)については、学科共通科目及び学科専門科目（コース科目）の中から、以下の要件を満たすこと

 (ア)「選択必修A」科目から6単位以上

 (イ)「選択必修B」科目から6単位以上

 (ウ)「選択必修C」科目から4単位以上

3 他学部・他学科専門教育科目等

(1) 人間文化学科（英語英米文化コース・歴史地理コース）、心理臨床学科及び法学部の専門教育科目（別表第2）

(2) 技能・資格等認定科目

(3) 協定に基づく他の大学等の授業科目（本学の専門教育科目とみなせるもの）

(4) 交換留学生（派遣）特別科目（専門教育科目）（別表第6）

■卒業に必要な最低修得単位数

1 共通教育科目	46単位	18単位
2 専門教育科目	60単位	
3 他学部・他学科専門教育科目等	—	
計	124単位	

1 共通教育科目

区分	授業科目等	必修	選択	選択	備考
導入科目	学問へのステップⅠ	2単位	—	—	
	学問へのステップⅡ	2単位	—	—	
	情報技術演習	2単位	—	—	
教養科目	教養基礎科目群	—	—	10単位	
	第1群	—	6単位		
	第2群	—	6単位		
	第3群	—	6単位		
第4群	—	2単位			
キャリア形成科目		—	2単位		
かごしま教養科目		—	—		
外国語科目		—	8単位		1言語につき4単位以上
計		6単位	30単位	10単位	
卒業に必要な最低修得単位数		46単位			

2 専門教育科目

区分	授業科目等	必修	選択 a	選択 b
学部基礎科目		—	—	—
学科基礎科目		6単位	—	—
学科共通科目	日本語日本文学系	8単位	—	—
	英語英米文化系	—	4単位	—
	歴史地理系	—	4単位	—
学科専門科目（コース科目）		—	—	32単位
卒業科目		6単位	—	—
計		20単位	8単位	32単位
卒業に必要な最低修得単位数		60単位		

別表第2-2-1 専門教育科目表

人間関係学部人間文化学科（日本語日本文学コース）

区分	授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考	
学部基礎科目	人権論	2	講義		2	1		
	倫理学概論	2	講義		2	2		
	哲学概論	2	講義		2	2		
	法学概論	2	講義		2	2		
	政治学概論	2	講義		2	2		
	社会学概論	2	講義		2	2		
学科基礎科目	日本語日本文学入門	2	講義	2		1		
	英語英米文化入門	2	講義	2		1		
	歴史地理入門	2	講義	2		1		
学科共通科目	日本語日本文学系	日本語学概論	2	講義		2	1	選択必修A
		日本語の音声	2	講義		2	2	選択必修A
		日本語の表現	2	演習		2	1	選択必修A
		社会言語学	2	講義		2	2	
		日本文学史Ⅰ	2	講義	2		1	
		日本文学史Ⅱ	2	講義	2		2	
		中国文学概論Ⅰ	2	講義	2		2	
		中国文学概論Ⅱ	2	講義	2		2	
		日本語教育概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		日本語教育概論Ⅱ	2	講義		2	2	
	対照言語学	2	講義		2	2		
	英語英米文化系	スピーキング・スキルズⅠ	2	演習		2	1	
		スピーキング・スキルズⅡ	2	演習		2	1	
		リスニング・スキルズⅠ	2	演習		2	1	
		リスニング・スキルズⅡ	2	演習		2	1	
		英語の音声	2	講義		2	2	
		英語学概論	2	講義		2	2	
		英語文学概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		英語文学概論Ⅱ	2	講義		2	2	
		英語圏の文化Ⅰ	2	講義		2	2	
		英語圏の文化Ⅱ	2	講義		2	2	
	海外語学研修	6	演習		6	1		
	歴史地理系	日本史概論	2	講義		2	1	
		外国史概論	2	講義		2	1	
		地域史概論	2	講義		2	2	
		地理学概論Ⅰ	2	講義		2	1	
		地理学概論Ⅱ	2	講義		2	2	
		人間と自然環境	2	講義		2	2	
		都市と自然環境	2	講義		2	2	
		考古学概論	2	講義		2	2	
民俗学概論		2	講義		2	1		

区分	授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
学科専門科目 (コース科目)	日本語学演習	2	演習		2	2	選択必修A
	日本語の文法	2	講義		2	3	選択必修A
	古代文学演習Ⅰ	2	演習		2	2	選択必修B
	古代文学演習Ⅱ	2	演習		2	3	選択必修B
	中世文学演習Ⅰ	2	演習		2	2	選択必修B
	中世文学演習Ⅱ	2	演習		2	3	選択必修B
	近世文学演習Ⅰ	2	演習		2	2	選択必修B
	近世文学演習Ⅱ	2	演習		2	2	選択必修B
	近代文学演習Ⅰ	2	演習		2	2	
	近代文学演習Ⅱ	2	演習		2	2	
	中国文学演習(詩)Ⅰ	2	演習		2	2	選択必修C
	中国文学演習(詩)Ⅱ	2	演習		2	2	選択必修C
	中国文学演習(散文)Ⅰ	2	演習		2	3	選択必修C
	中国文学演習(散文)Ⅱ	2	演習		2	3	選択必修C
	古代文学特講	2	講義		2	3	
	中世文学特講	2	講義		2	3	
	近世文学特講	2	講義		2	3	
	近代文学特講Ⅰ	2	講義		2	3	
	近代文学特講Ⅱ	2	講義		2	3	
	日本語教授法Ⅰ	2	演習		2	3	
	日本語教授法Ⅱ	2	演習		2	3	
	日本語教育実習	2	実習・演習		2	3	
	書道(書写)	2	実習		2	2	
書道史	2	講義		2	2		
卒業科目	卒業研究Ⅰ	2	演習	2		3	
	卒業研究Ⅱ	2	演習	2		4	
	卒業研究Ⅲ(卒業論文)	2	演習	2		4	
	計			20	118		

卒業に必要な単位数（人間文化学科英語英米文化コース）

卒業には、以下の第1～3項に掲げる単位数の合計が、124単位以上であることが要件である。なお、第1項及び第2項の単位数の合計が124単位以上である場合は、第3項の単位がなくてもよい。

1 共通教育科目 別表第1「共通教育科目表」に掲げる科目から46単位以上（下表1 共通教育科目参照）

2 専門教育科目 別表第2-2-2「専門教育科目表 人間関係学部人間文化学科（英語英米文化コース）」に掲げる科目から、次の区分の単位数を含む60単位以上（下表2 専門教育科目参照）

(1) 必修科目 24単位

 学科基礎科目 6単位

 学科共通科目＜英語英米文化系＞ 8単位

 学科専門科目（コース科目）4単位

 卒業科目 6単位

(2) 選択科目 36単位以上

 ア 選択科目 a 8単位

 学科共通科目＜日本語日本文学系＞＜歴史地理系＞から、それぞれ4単位

 イ 選択科目 b 28単位以上

 学科専門科目（コース科目）から28単位以上

※上の(2)については、学科共通科目及び学科専門科目（コース科目）の中の「選択必修A」科目から8単位以上を修得すること

3 他学部・他学科専門教育科目等

(1) 人間文化学科（日本語日本文学コース・歴史地理コース）、心理臨床学科及び法学部の専門教育科目（別表第2）

(2) 技能・資格等認定科目

(3) 協定に基づく他の大学等の授業科目（本学の専門教育科目とみなせるもの）

(4) 交換留学生（派遣）特別科目（専門教育科目）（別表第6）

■卒業に必要な最低修得単位数

1 共通教育科目	46単位	18単位
2 専門教育科目	60単位	
3 他学部・他学科専門教育科目等	—	
計	124単位	

1 共通教育科目

区分	授業科目等	必修	選択	選択	備考
導入科目	学問へのステップⅠ	2単位	—	—	
	学問へのステップⅡ	2単位	—	—	
	情報技術演習	2単位	—	—	
教養科目	教養基礎科目群	—	—	10単位	
	第1群	—	6単位		
	第2群	—	6単位		
	第3群	—	6単位		
第4群	—	2単位			
キャリア形成科目		—	2単位		
かごしま教養科目		—	—		
外国語科目		—	8単位		1言語につき4単位以上
計		6単位	30単位	10単位	
卒業に必要な最低修得単位数		46単位			

2 専門教育科目

区分	授業科目等	必修	選択 a	選択 b
学部基礎科目		—	—	—
学科基礎科目		6単位	—	—
学科共通科目	日本語日本文学系	—	4単位	—
	英語英米文化系	8単位	—	—
	歴史地理系	—	4単位	—
学科専門科目（コース科目）		4単位	—	28単位
卒業科目		6単位		
計		24単位	8単位	28単位
卒業に必要な最低修得単位数		60単位		

別表第2-2-2 専門教育科目表

人間関係学部人間文化学科（英語英米文化コース）

区分	授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考	
学部基礎科目	人権論	2	講義		2	1		
	倫理学概論	2	講義		2	2		
	哲学概論	2	講義		2	2		
	法学概論	2	講義		2	2		
	政治学概論	2	講義		2	2		
	社会学概論	2	講義		2	2		
学科基礎科目	日本語日本文学入門	2	講義	2		1		
	英語英米文化入門	2	講義	2		1		
	歴史地理入門	2	講義	2		1		
学科共通科目	日本語日本文学系	日本語学概論	2	講義		2	1	
		日本語の音声	2	講義		2	2	
		日本語の表現	2	演習		2	1	
		社会言語学	2	講義		2	2	
		日本文学史Ⅰ	2	講義		2	1	
		日本文学史Ⅱ	2	講義		2	2	
		中国文学概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		中国文学概論Ⅱ	2	講義		2	2	
		日本語教育概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		日本語教育概論Ⅱ	2	講義		2	2	
	対照言語学	2	講義		2	2		
	英語英米文化系	スピーキング・スキルズⅠ	2	演習	2		1	
		スピーキング・スキルズⅡ	2	演習	2		1	
		リスニング・スキルズⅠ	2	演習	2		1	
		リスニング・スキルズⅡ	2	演習	2		1	
		英語の音声	2	講義		2	2	
		英語学概論	2	講義		2	2	
		英語文学概論Ⅰ	2	講義		2	2	選択必修A
		英語文学概論Ⅱ	2	講義		2	2	選択必修A
		英語圏の文化Ⅰ	2	講義		2	2	選択必修A
		英語圏の文化Ⅱ	2	講義		2	2	選択必修A
	海外語学研修	6	演習		6	1		
	歴史地理系	日本史概論	2	講義		2	1	
		外国史概論	2	講義		2	1	
		地域史概論	2	講義		2	2	
		地理学概論Ⅰ	2	講義		2	1	
		地理学概論Ⅱ	2	講義		2	2	
		人間と自然環境	2	講義		2	2	
		都市と自然環境	2	講義		2	2	
		考古学概論	2	講義		2	2	
民俗学概論		2	講義		2	1		

区分	授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
学科専門科目(コース科目)	リーディング・スキルズⅠ	2	演習		2	2	
	リーディング・スキルズⅡ	2	演習		2	2	
	ライティング・スキルズⅠ	2	演習	2		2	
	ライティング・スキルズⅡ	2	演習	2		2	
	カレント・イングリッシュ	2	演習		2	2	
	パブリック・スピーキング・スキルズ	2	演習		2	2	
	ディベート・スキルズ	2	演習		2	3	
	オーラル・インタプリテーション	2	演習		2	3	
	英語の文法Ⅰ	2	講義		2	2	選択必修A
	英語の文法Ⅱ	2	講義		2	2	選択必修A
	英語の歴史	2	講義		2	2	
	英語学演習	2	演習		2	2	
	児童英語	2	演習		2	3	
	英語教育演習	2	演習		2	2	
	英語文学演習Ⅰ	2	演習		2	2	
	英語文学演習Ⅱ	2	演習		2	2	
	英語文学演習Ⅲ	2	演習		2	2	
	英語文学演習Ⅳ	2	演習		2	2	
	英語文学演習Ⅴ	2	演習		2	3	
	英語文学演習Ⅵ	2	演習		2	3	
比較文化論	2	演習		2	2	選択必修A	
異文化理解演習	2	演習		2	2	選択必修A	
卒業科目	卒業研究Ⅰ	2	演習	2		3	
	卒業研究Ⅱ	2	演習	2		4	
	卒業研究Ⅲ(卒業論文)	2	演習	2		4	
	計			24	110		

卒業に必要な単位数（人間文化学科歴史地理コース）

卒業には、以下の第1～3項に掲げる単位数の合計が、124単位以上であることが要件である。なお、第1項及び第2項の単位数の合計が124単位以上である場合は、第3項の単位がなくてもよい。

- 1 共通教育科目 別表第1「共通教育科目表」に掲げる科目から46単位以上（下表1 共通教育科目参照）
 - 2 専門教育科目 別表第2-2-3「専門教育科目表 人間関係学部人間文化学科（歴史地理コース）」に掲げる科目から、次の区分の単位数を含む60単位以上（下表2 専門教育科目参照）
 - (1) 必修科目 20単位
 - 学科基礎科目から6単位
 - 学科共通科目＜歴史地理系＞から8単位
 - 卒業科目 6単位
 - (2) 選択科目 40単位以上
 - ア 選択科目 a 8単位
 - 学科共通科目＜日本語日本文学系＞＜英語英米文化系＞から、それぞれ4単位
 - イ 選択科目 b 32単位以上
 - 学科専門科目（コース科目）から32単位以上
- ※上の(2)については、学科共通科目及び学科専門科目（コース科目）の中から、以下の要件を満たすこと
- (ア)「選択必修A」科目から8単位以上
 - (イ)「選択必修B」科目から8単位以上
- 3 他学部・他学科専門教育科目等
 - (1) 人間文化学科（日本語日本文学コース・英語英米文化コース）、心理臨床学科及び法学部の専門教育科目（別表第2）
 - (2) 技能・資格等認定科目
 - (3) 協定に基づく他の大学等の授業科目（本学の専門教育科目とみなせるもの）
 - (4) 交換留学生（派遣）特別科目（専門教育科目）（別表第6）

■卒業に必要な最低修得単位数

1 共通教育科目	46単位	18単位
2 専門教育科目	60単位	
3 他学部・他学科専門教育科目等	—	
計	124単位	

1 共通教育科目

区分	授業科目等	必修	選択	選択	備考
導入科目	学問へのステップⅠ	2単位	—	—	
	学問へのステップⅡ	2単位	—	—	
	情報技術演習	2単位	—	—	
教養科目	教養基礎科目群	—	—	10単位	
	第1群	—	6単位		
	第2群	—	6単位		
	第3群	—	6単位		
第4群	—	2単位			
キャリア形成科目		—	2単位		
かごしま教養科目		—	—		
外国語科目		—	8単位		1言語につき4単位以上
計		6単位	30単位	10単位	
卒業に必要な最低修得単位数		46単位			

2 専門教育科目

区分	授業科目等	必修	選択 a	選択 b
学部基礎科目		—	—	—
学科基礎科目		6単位	—	—
学科共通科目	日本語日本文学系	—	4単位	—
	英語英米文化系	—	4単位	—
	歴史地理系	8単位	—	—
学科専門科目（コース）		—	—	32単位
卒業科目		6単位		
計		20単位	8単位	32単位
卒業に必要な最低修得単位数		60単位		

別表第2-2-3 専門教育科目表

人間関係学部人間文化学科（歴史地理コース）

区分	授業科目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考	
学部基礎科目	人権論	2	講義		2	1		
	倫理学概論	2	講義		2	2		
	哲学概論	2	講義		2	2		
	法学概論	2	講義		2	2		
	政治学概論	2	講義		2	2		
	社会学概論	2	講義		2	2		
学科基礎科目	日本語日本文学入門	2	講義	2		1		
	英語英米文化入門	2	講義	2		1		
	歴史地理入門	2	講義	2		1		
学科共通科目	日本語日本文学系	日本語学概論	2	講義		2	1	
		日本語の音声	2	講義		2	2	
		日本語の表現	2	演習		2	1	
		社会言語学	2	講義		2	2	
		日本文学史Ⅰ	2	講義		2	1	
		日本文学史Ⅱ	2	講義		2	2	
		中国文学概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		中国文学概論Ⅱ	2	講義		2	2	
		日本語教育概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		日本語教育概論Ⅱ	2	講義		2	2	
	対照言語学	2	講義		2	2		
	英語英米文化系	スピーキング・スキルズⅠ	2	演習		2	1	
		スピーキング・スキルズⅡ	2	演習		2	1	
		リスニング・スキルズⅠ	2	演習		2	1	
		リスニング・スキルズⅡ	2	演習		2	1	
		英語の音声	2	講義		2	2	
		英語学概論	2	講義		2	2	
		英語文学概論Ⅰ	2	講義		2	2	
		英語文学概論Ⅱ	2	講義		2	2	
		英語圏の文化Ⅰ	2	講義		2	2	
		英語圏の文化Ⅱ	2	講義		2	2	
	海外語学研修	6	演習		6	1		
	歴史地理系	日本史概論	2	講義	2		1	
		外国史概論	2	講義	2		1	
		地域史概論	2	講義		2	2	
		地理学概論Ⅰ	2	講義	2		1	
		地理学概論Ⅱ	2	講義	2		2	
		人間と自然環境	2	講義		2	2	
		都市と自然環境	2	講義		2	2	
		考古学概論	2	講義		2	2	選択必修A
民俗学概論		2	講義		2	1	選択必修A	

区分	授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
学科専門科目(コース科目)	文化史Ⅰ	2	講義		2	2	選択必修A
	文化史Ⅱ	2	講義		2	2	選択必修A
	社会史Ⅰ	2	講義		2	2	選択必修A
	社会史Ⅱ	2	講義		2	2	選択必修A
	思想史	2	講義		2	2	選択必修A
	歴史学特講Ⅰ	2	講義		2	2	
	歴史学特講Ⅱ	2	講義		2	2	
	歴史学特講Ⅲ	2	講義		2	2	
	歴史学特講Ⅳ	2	講義		2	2	
	歴史学特講Ⅴ	2	講義		2	2	
	法思想史	2	講義		2	2	
	法制史	2	講義		2	2	
	政治史	2	講義		2	2	
	経済学Ⅰ	2	講義		2	2	
	経済学Ⅱ	2	講義		2	2	
	地誌学Ⅰ	2	講義		2	2	
	地誌学Ⅱ	2	講義		2	2	
	歴史学演習Ⅰ	2	演習		2	3	選択必修B
	歴史学演習Ⅱ	2	演習		2	3	選択必修B
	歴史学演習Ⅲ	2	演習		2	3	選択必修B
	歴史学演習Ⅳ	2	演習		2	3	選択必修B
	歴史学演習Ⅴ	2	演習		2	3	選択必修B
	歴史学演習Ⅵ	2	演習		2	3	選択必修B
野外環境演習	2	演習		2	3	選択必修B	
地域環境演習	2	演習		2	3	選択必修B	
地誌学演習Ⅰ	2	演習		2	3	選択必修B	
地誌学演習Ⅱ	2	演習		2	3	選択必修B	
民俗学演習	2	演習		2	3	選択必修B	
卒業科目	卒業研究Ⅰ	2	演習	2		3	
	卒業研究Ⅱ	2	演習	2		4	
	卒業研究Ⅲ(卒業論文)	2	演習	2		4	
	計			20	126		

卒業に必要な単位数（法律学科）

卒業には、以下の第1～3項に掲げる単位数の合計が、124単位以上であることが要件である。なお、第1項及び第2項の単位数の合計が124単位以上である場合は、第3項の単位がなくてもよい。

- 1 共通教育科目 別表第1「共通教育科目表」に掲げる科目から34単位以上（下表1 共通教育科目参照）
- 2 専門教育科目 別表第2-3「専門教育科目表 法学部法律学科」に掲げる科目から、次の区分の単位数を含む72単位以上（下表2 専門教育科目参照）
 - (1) 必修科目 20単位
 - 学部基礎科目（入門科目）12単位
 - 学部共通科目4単位
 - 学科科目4単位
 - (2) 選択科目 52単位以上
 - ア 選択科目 a 40単位
 - イ 選択科目 b 12単位以上

※上のイについては、別表第2-4「専門教育科目表 法学部法ビジネス学科」に掲げる科目から修得してもよい
- 3 他学部専門教育科目等
 - (1) 人間関係学部の専門教育科目（別表第2）
 - (2) 技能・資格等認定科目
 - (3) 協定に基づく他の大学等の授業科目（本学の専門教育科目とみなせるもの）
 - (4) 交換留学生（派遣）特別科目（専門教育科目）（別表第6）

■卒業に必要な最低修得単位数

1 共通教育科目	34単位	18単位
2 専門教育科目	72単位	
3 他学部専門教育科目等	—	
計	124単位	

1 共通教育科目

区分	授業科目等	必修	選択	選択	備考
導入科目	学問へのステップⅠ	2単位	—	—	
	学問へのステップⅡ	2単位	—	—	
	情報技術演習	2単位	—	—	
教養科目	教養基礎科目群	—	—	10単位	
	第1群	—	2単位		
	第2群	—	2単位		
	第3群	—	2単位		
	第4群	—	2単位		
キャリア形成科目		—	2単位		
かごしま教養科目		—	—		
外国語科目		—	8単位		1言語につき4単位以上
計		6単位	18単位	10単位	
卒業に必要な最低修得単位数		34単位			

2 専門教育科目

区分	授業科目等	必修	選択 a	選択 b	備考
学部基礎科目		—	40単位	12単位	
学部基礎科目 (入門科目)	法学入門	2単位			
	公法入門	2単位			
	民事法入門	2単位			
	刑事法入門	2単位			
	ビジネス法入門	2単位			
	経営学入門	2単位			
学部共通科目	専門演習ⅠA	2単位			
	専門演習ⅠB	2単位			
		—			
学科科目	刑法総論Ⅰ	2単位			
	刑法総論Ⅱ	2単位			
		—			
法ビジネス学科の専門教育科目		—	—		
計		20単位	40単位	12単位	
卒業に必要な最低修得単位数		72単位			

別表第2-3 専門教育科目表

法学部法律学科

区分	授 業 科 目	単位数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考	
学部基礎科目	哲学概論	2	講義		2	2		
	倫理学概論	2	講義		2	2		
	社会学概論	2	講義		2	2		
	日本史概論	2	講義		2	2		
	外国史概論	2	講義		2	2		
	地理学概論Ⅰ	2	講義		2	1		
	地理学概論Ⅱ	2	講義		2	2		
	地誌学Ⅰ	2	講義		2	2		
	地誌学Ⅱ	2	講義		2	2		
	入門科目	法学入門	2	講義	2		1	
		公法入門	2	講義	2		1	
		民法入門	2	講義	2		1	
		刑事法入門	2	講義	2		1	
ビジネス法入門		2	講義	2		1		
経営学入門		2	講義	2		1		
学部共通科目	憲法Ⅰ	2	講義		2	1		
	憲法Ⅱ	2	講義		2	1		
	行政法Ⅰ	2	講義		2	2		
	行政法Ⅱ	2	講義		2	2		
	地方自治法	2	講義		2	2		
	民法総則Ⅰ	2	講義		2	1		
	民法総則Ⅱ	2	講義		2	1		
	物権法Ⅰ	2	講義		2	2		
	物権法Ⅱ	2	講義		2	2		
	債権法総論Ⅰ	2	講義		2	2		
	債権法総論Ⅱ	2	講義		2	2		
	債権法各論Ⅰ	2	講義		2	2		
	債権法各論Ⅱ	2	講義		2	2		
	家族法Ⅰ	2	講義		2	2		
	家族法Ⅱ	2	講義		2	2		
	不動産取引法	2	講義		2	2		
	登記法	2	講義		2	3		
	消費者法	2	講義		2	3		
	商取引法	2	講義		2	2		
	会社法Ⅰ	2	講義		2	2		
	会社法Ⅱ	2	講義		2	2		
	民事訴訟法Ⅰ	2	講義		2	2		
	民事訴訟法Ⅱ	2	講義		2	2		
	民事執行法	2	講義		2	3		
	倒産処理法	2	講義		2	3		
	国際私法	2	講義		2	3		
	法学特殊講義Ⅰ	2	講義		2	1		
	法学特殊講義Ⅱ	2	講義		2	1		
	専門演習ⅠA	2	演習	2		3		
	専門演習ⅠB	2	演習	2		3		
	専門演習ⅡA	2	演習		2	4		
	専門演習ⅡB	2	演習		2	4		
	地域産業論演習	2	演習		2	1		
経済学Ⅰ	2	講義		2	2			
経済学Ⅱ	2	講義		2	2			
経済政策	2	講義		2	2			
財政学	2	講義		2	2			

区分	授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
学 科 科 目	刑法総論Ⅰ	2	講義	2		2	
	刑法総論Ⅱ	2	講義	2		2	
	刑法各論Ⅰ	2	講義		2	2	
	刑法各論Ⅱ	2	講義		2	2	
	刑事訴訟法Ⅰ	2	講義		2	2	
	刑事訴訟法Ⅱ	2	講義		2	2	
	刑事政策	2	講義		2	2	
	国際法	2	講義		2	2	
	法哲学	2	講義		2	2	
	法思想史	2	講義		2	2	
	法制史	2	講義		2	2	
	法社会学	2	講義		2	2	
	政治学概論	2	講義		2	2	
	政治理論	2	講義		2	2	
	政治史	2	講義		2	2	
	行政学	2	講義		2	2	
	自治体政策論	2	講義		2	3	
	現代自治体論	2	講義		2	3	
	国際関係論	2	講義		2	2	
		計			20	122	

卒業に必要な単位数（法ビジネス学科）

卒業には、以下の第1～3項に掲げる単位数の合計が、124単位以上であることが要件である。なお、第1項及び第2項の単位数の合計が124単位以上である場合は、第3項の単位がなくてもよい。

1 共通教育科目 別表第1「共通教育科目表」に掲げる科目から34単位以上（下表1 共通教育科目参照）

2 専門教育科目 別表第2-4「専門教育科目表 法学部法ビジネス学科」に掲げる科目から、次の区分の単位数を含む72単位以上（下表2 専門教育科目参照）

(1) 必修科目 20単位

学部基礎科目（入門科目）12単位

学部共通科目4単位

学科科目4単位

(2) 選択科目 52単位以上

ア 選択科目 a 40単位

イ 選択科目 b 12単位以上

※上のイについては、別表第2-3「専門教育科目表 法学部法律学科」に掲げる科目から修得してもよい

3 他学部専門教育科目等

(1) 人間関係学部の専門教育科目（別表第2）

(2) 技能・資格等認定科目

(3) 協定に基づく他の大学等の授業科目（本学の専門教育科目とみなせるもの）

(4) 交換留学生（派遣）特別科目（専門教育科目）（別表第6）

■卒業に必要な最低修得単位数

1 共通教育科目	34単位	18単位
2 専門教育科目	72単位	
3 他学部専門教育科目等	—	
計	124単位	

1 共通教育科目

区分	授業科目等	必修	選択	選択	備考
導入科目	学問へのステップⅠ	2単位	—	—	
	学問へのステップⅡ	2単位	—	—	
	情報技術演習	2単位	—	—	
教養科目	教養基礎科目群	—	—	10単位	
	第1群	—	2単位		
	第2群	—	2単位		
	第3群	—	2単位		
	第4群	—	2単位		
キャリア形成科目		—	2単位		
かごしま教養科目		—	—		
外国語科目		—	8単位		1言語につき4単位以上
計		6単位	18単位	10単位	
卒業に必要な最低修得単位数		34単位			

2 専門教育科目

区分	授業科目等	必修	選択 a	選択 b	備考
学部基礎科目		—	40単位	12単位	
学部基礎科目 (入門科目)	法学入門	2単位			
	公法入門	2単位			
	民法法入門	2単位			
	刑事法入門	2単位			
	ビジネス法入門	2単位			
	経営学入門	2単位			
学部共通科目	専門演習ⅠA	2単位			
	専門演習ⅠB	2単位			
		—			
学科科目	法ビジネス基礎演習Ⅰ	2単位			
	法ビジネス基礎演習Ⅱ	2単位			
		—			
法律学科の専門教育科目		—	—		
計		20単位	40単位	12単位	
卒業に必要な最低修得単位数		72単位			

別表第2-4 専門教育科目表

法学部法ビジネス学科

区分	授 業 科 目	単位数	授 業 形態	必修	選択	配当年次	備考	
学部基礎科目	哲学概論	2	講義		2	2		
	倫理学概論	2	講義		2	2		
	社会学概論	2	講義		2	2		
	日本史概論	2	講義		2	2		
	外国史概論	2	講義		2	2		
	地理学概論Ⅰ	2	講義		2	1		
	地理学概論Ⅱ	2	講義		2	2		
	地誌学Ⅰ	2	講義		2	2		
	地誌学Ⅱ	2	講義		2	2		
	入門科目	法学入門	2	講義	2		1	
		公法入門	2	講義	2		1	
		民事法入門	2	講義	2		1	
		刑事法入門	2	講義	2		1	
ビジネス法入門		2	講義	2		1		
経営学入門		2	講義	2		1		
学部共通科目	憲法Ⅰ	2	講義		2	1		
	憲法Ⅱ	2	講義		2	1		
	行政法Ⅰ	2	講義		2	2		
	行政法Ⅱ	2	講義		2	2		
	地方自治法	2	講義		2	2		
	民法総則Ⅰ	2	講義		2	1		
	民法総則Ⅱ	2	講義		2	1		
	物権法Ⅰ	2	講義		2	2		
	物権法Ⅱ	2	講義		2	2		
	債権法総論Ⅰ	2	講義		2	2		
	債権法総論Ⅱ	2	講義		2	2		
	債権法各論Ⅰ	2	講義		2	2		
	債権法各論Ⅱ	2	講義		2	2		
	家族法Ⅰ	2	講義		2	2		
	家族法Ⅱ	2	講義		2	2		
	不動産取引法	2	講義		2	2		
	登記法	2	講義		2	3		
	消費者法	2	講義		2	3		
	商取引法	2	講義		2	2		
	会社法Ⅰ	2	講義		2	2		
	会社法Ⅱ	2	講義		2	2		
	民事訴訟法Ⅰ	2	講義		2	2		
	民事訴訟法Ⅱ	2	講義		2	2		
	民事執行法	2	講義		2	3		
	倒産処理法	2	講義		2	3		
	国際私法	2	講義		2	3		
	法学特殊講義Ⅰ	2	講義		2	1		
	法学特殊講義Ⅱ	2	講義		2	1		
	専門演習ⅠA	2	演習	2		3		
	専門演習ⅠB	2	演習	2		3		
	専門演習ⅡA	2	演習		2	4		
	専門演習ⅡB	2	演習		2	4		
	地域産業論演習	2	演習		2	1		
経済学Ⅰ	2	講義		2	2			
経済学Ⅱ	2	講義		2	2			
経済政策	2	講義		2	2			
財政学	2	講義		2	2			

区分	授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
学 科 科 目	ビジネス倫理	2	講義		2	2	
	税法	2	講義		2	3	
	知的財産法	2	講義		2	3	
	金融商品取引法	2	講義		2	2	
	社会法Ⅰ	2	講義		2	3	
	社会法Ⅱ	2	講義		2	3	
	社会保障論Ⅰ	2	講義		2	2	
	社会保障論Ⅱ	2	講義		2	2	
	法ビジネス基礎演習Ⅰ	2	実習・演習	2		2	
	法ビジネス基礎演習Ⅱ	2	実習・演習	2		2	
	ビジネスの歴史	2	講義		2	2	
	経営戦略論	2	講義		2	2	
	簿記	2	講義		2	2	
	会計学	2	講義		2	2	
	財務管理論	2	講義		2	2	
	国際ビジネス論	2	講義		2	2	
	総合地域論	2	講義		2	3	
	スポーツ産業	2	講義		2	3	
	銀行実務	2	講義		2	2	
	生涯開発論	2	講義		2	1	
	社会・集団・家族心理学	2	講義		2	2	
	社会心理学	2	講義		2	2	
	組織行動論	2	講義		2	2	
	産業・組織心理学	2	講義		2	2	
	社会調査法	2	講義		2	2	
	社会調査統計	2	演習		2	3	
	ビジネスデータ分析Ⅰ	2	演習		2	2	
	ビジネスデータ分析Ⅱ	2	演習		2	2	
	鹿児島地域経済演習	2	演習		2	2	
	鹿児島企業経営演習	2	演習		2	2	
	計			20	144		

別表第3-1

教職専門科目表（中・高）

授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
国語科教育法Ⅰ	2	講義・演習	2		2	※
国語科教育法Ⅱ	2	講義・演習	2		2	※
国語科教育法Ⅲ	2	講義・演習	2		3	※
国語科教育法Ⅳ	2	講義・演習	2		3	※
英語科教育法Ⅰ	2	講義・演習	2		3	※
英語科教育法Ⅱ	2	講義・演習	2		3	※
英語科教育法Ⅲ	2	講義・演習	2		2	※
英語科教育法Ⅳ	2	講義・演習	2		2	※
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	講義・演習	2		2	※
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	講義・演習	2		2	※
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	講義・演習	2		2	※
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	講義・演習	2		2	※
教育原理	2	講義		2	2	
教職概論	2	講義	2		2	
教育行政概論	2	講義	2		2	
教育・学校心理学	2	講義		2	2	
発達心理学	2	講義		2	2	
特別支援教育概論	2	講義	2		2	
教育課程論	2	講義	2		2	
道德教育の指導法Ⅰ	2	講義	2		2	
道德教育の指導法Ⅱ	2	講義	2		2	※
総合的な学習の時間の指導法	2	講義	2		2	※
特別活動論	2	講義	2		2	
教育の方法と技術	2	講義	2		2	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	講義	2		2	
生徒指導の理論と方法	2	講義	2		2	
学校臨床と教育相談	2	講義	2		2	
進路指導の理論と方法	2	講義	2		2	
教育実習Ⅰ	1	演習	1		2	
教育実習Ⅱ	2	実習	2		2	
教育実習Ⅲ	2	実習	2		2	※
教職実践演習（中・高）	2	演習	2		2	
学校インターンシップA	1	実習		1	2	
学校インターンシップB	2	実習		2	2	
計			※	9		

※ 必修科目は、各免許種によって異なるため「志學館大学教職課程履修要項」を参照

別表第3-2

教職専門科目表（養護）

授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
教育原理	2	講義		2	2	
教職概論	2	講義	2		2	
教育行政概論	2	講義	2		2	
教育・学校心理学	2	講義		2	2	
発達心理学	2	講義		2	2	
特別支援教育概論	2	講義	2		3	
教育課程論	2	講義	2		2	
道德教育の指導法 I	2	講義	2		2	
総合的な学習の時間の指導法	2	講義	2		3	
特別活動論	2	講義	2		3	
教育の方法と技術	2	講義	2		3	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	講義	2		2	
生徒指導の理論と方法	2	講義	2		2	
学校臨床と教育相談	2	講義	2		3	
養護実習 I	1	実習	1		4	
養護実習 II	4	実習	4		4	
教職実践演習（養護教諭）	2	演習	2		4	
精神保健 II	2	講義	2		3	
学校インターンシップ A	1	実習		1	3	
学校インターンシップ B	2	実習		2	3	
計			※	9		

別表第4

日本語教員養成副専攻科目表

区分	授業科目	単位数	授業形態	必修・選択必修	配当年次	備考
社会・文化・地域	日本語教育概論Ⅰ	2	講義	必修	2	
	日本の歴史	2	講義	1科目 選択必修	1	
	日本の文学	2	講義		1	
	民俗学概論	2	講義		1	
言語と社会	社会言語学	2	講義	必修	2	
	異文化コミュニケーション	2	講義	1科目	1	
	コミュニケーション論	2	講義	選択必修	3	
言語と心理	知覚・認知心理学	2	講義	1科目	3	
	学習・言語心理学	2	講義	選択必修	3	
言語と教育	日本語教育概論Ⅱ	2	講義	必修	2	
	日本語教授法Ⅰ	2	演習	必修	3	
	日本語教授法Ⅱ	2	演習	必修	3	
	日本語教育実習	2	実習・演習	必修	3	
	比較教育概論	2	講義	1科目	3	
	教育の方法と技術	2	講義	選択必修	3	
言語	日本語の表現	2	演習	必修	1	
	日本語学概論	2	講義	必修	1	
	日本語学演習	2	演習	必修	2	
	対照言語学	2	講義	必修	2	
	日本語の音声	2	講義	必修	2	
	日本語の文法	2	講義	必修	3	
計		42		必修：24単位 選択必修：8単位以上		

※ 日本語教員養成副専攻修了に必要な単位数

本副専攻を修了するためには、本表に掲げる科目から必修科目24単位、選択必修科目8単位以上、計32単位以上を修得しなければならない。

別表第5

特別講座科目

授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
図書館概論	2	講義		2	1	
図書館制度・経営論	2	講義		2	2	
図書館サービス概論	2	講義		2	1	
情報サービス論	2	講義		2	3	
情報サービス演習Ⅰ	1	演習		1	3	
情報サービス演習Ⅱ	1	演習		1	3	
図書館情報資源概論	2	講義		2	2	
情報資源組織論	2	講義		2	2	
情報資源組織演習Ⅰ	1	演習		1	2	
情報資源組織演習Ⅱ	1	演習		1	3	
図書館情報資源特論	1	講義		1	2	
図書・図書館史	1	講義		1	2	
学校経営と学校図書館	2	講義		2	1	
学校図書館メディアの構成	2	講義		2	1	
学習指導と学校図書館	2	講義		2	1	
情報メディアの活用	2	講義		2	1	
博物館概論	2	講義		2	1	
博物館経営論	2	講義		2	2	
博物館資料論	2	講義		2	2	
博物館資料保存論	2	講義		2	2	
博物館展示論	2	講義		2	2	
博物館教育論	2	講義		2	2	
博物館情報・メディア論	2	講義		2	2	
博物館実習Ⅰ	2	実習		2	3	
博物館実習Ⅱ	1	実習		1	3	
対人援助基礎演習	2	演習		2	1	
対人援助基礎演習Ⅱ	2	演習		2	2	
対人援助基礎演習Ⅲ	2	演習		2	2	

別表第6

交換留学生（派遣）特別科目表

授 業 科 目	単位数	授業形態	必修	選択	配当年次	備考
海外学修A	1～8	演習		選択	2	共通教育科目
海外学修B	1～16	演習		選択	2	専門教育科目

※「海外学修A」は、共通教育科目の外国語科目の単位として算入できる。

別表第 7

自由履修科目

授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	必 修	選 択	配 当 年 次	備 考
宅建講座Ⅰ	4	講義		4	1	
宅建講座Ⅱ	2	講義		2	1	
宅建講座Ⅲ	2	講義		2	1	
宅建講座Ⅳ	4	講義		4	1	
ファイナンシャルプランニングⅠ	2	講義		2	1	
ファイナンシャルプランニングⅡ	2	講義		2	1	
経済学演習Ⅰ	2	講義		2	2	
経済学演習Ⅱ	2	講義		2	2	
経済学演習Ⅲ	2	講義		2	2	
経済学演習Ⅳ	2	講義		2	2	
公務員・行政書士講座Ⅰ	2	講義		2	1	
公務員・行政書士講座Ⅱ	2	講義		2	1	
公務員・行政書士講座Ⅲ	2	講義		2	1	
公務員・行政書士講座Ⅳ	2	講義		2	1	
公務員・行政書士講座Ⅴ	2	講義		2	2	
公務員・行政書士講座Ⅵ	2	講義		2	2	
公務員・行政書士講座Ⅶ	2	講義		2	2	
公務員・行政書士講座Ⅷ	2	講義		2	2	
計				40		